

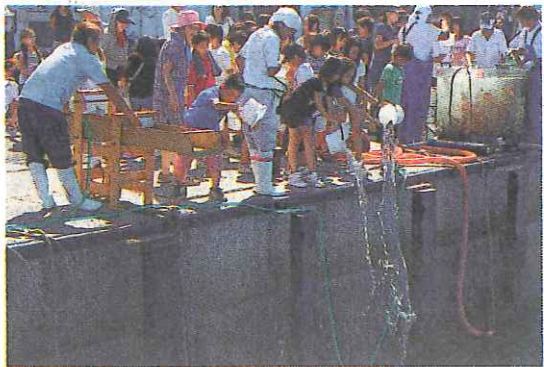
# マダイ稚魚を1000尾放流

## 三浦市の剣崎小児童121人

【三浦】JFみうら漁協松輪支所の遊漁船業グループ・松輪乗合船組合は9月12日、三浦市の江奈湾で、地元の小学生によるマダイ稚魚1000尾の放流を行った。児童は口々に「大きくなって」と声を掛けながら、放流していた。

放流を行ったのは三浦市立剣崎小学校の全校児童121人。神奈川県栽培培漁業協会が小網代湾で飼育してきた種苗。通常の放流サイズである7〜8センチと比べ2倍は生存率

が高いと思われる体長13センチに育ったマダイ稚魚。



放流に先立ち、同協会の今井利為専務は「1ミリの小さな卵をふ化させ、4月から育ててきた。海で大きくなってまた会おうと声を掛けて放流して」と話し、このあと、児童たちは同協会職員に小さなバケツにマダイの稚魚を入れてもらい、1〜3年生は放流台を使い、4〜6年生は岸壁から直接海に放流した。

マダイ稚魚を放流する児童たち